

平成25年3月15日

那須烏山市議会議長 中山五男様

文教福祉常任委員会委員長 板橋邦夫

予算審査結果報告書

本委員会に平成25年3月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成25年3月12日（火）及び13日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 板橋邦夫、田島信二、滝田志孝、高田悦男、中山五男、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 平山隆、健康福祉課長 網野栄、こども課長 鈴木重男、学校教育課長 大野治樹、生涯学習課長 川堀文玉、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課の平成25年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・高齢化が加速する本市においては、診療所は来所する傷病者の診療を担うだけでなく、来所できない高齢者等への対応、在宅療養のサポート、疾病予防や健康維持・増進等の様々な役割が期待され、今後その重要性は増してくると思われる。地域との繋がり、診療所相互間や病院との連携をより密にし、超高齢化を迎える地域での医療の拠点とになりうる十分な自力をつけるよう準備されたい。

健康福祉課

- ・施設整備により、待機者が解消されつつあることは喜ばしいことであるが、一方で施設介護は利用者に相当の費用負担を求めるという側面もある。費用負担ができない世帯が介護保険制度からこぼれてしまうことがないよう居宅介護についても十分な支援策を施されたい。

こども課

- ・こども館事業は、高い効果が見られ市民の評判も良好な優良事業である。しかし、施設の老朽化が大きな懸念材料となっている。特に、耐震化がされていないため、子どもたちの安心安全面を鑑みると速やかな対策が必要と考える。現行施設の解体も視野に、施設整備について早急に検討されたい。

- ・児童虐待防止はデリケートな問題をはらみ、また、危険を伴うものであるため、日々苦慮されていることは理解している。今後も虐待の早期発見・早期対応のため、なお一層警察署や児童相談所等の関係機関との連携を密にし、万全の体制で取り組まれない。

学校教育課

- ・学校教育課で加入する各種団体のうち負担金、分担金を伴うものについて、ゼロベースでの見直しを行い、加入の必要がないと判断される団体からは速やかに脱退されたい。
- ・文武両道教育推進事業については、現時点では方向性がはっきりしていないようだが、せっかくの新規事業である。早急に具体的内容を検討し、より効果のあがる方法で実施されたい。

生涯学習課

- ・現在、烏山城跡や長者ヶ平官衙遺跡の整備を行っているほか、老朽化した既設のものに代わる新たな歴史資料館の設置を準備しているとのことである。歴史を後世に伝えなければならない行政の責務は理解できるが、財政に余裕のない当市においては、投資は限定的に行うべきと考える。遺跡整備は規模縮小を再考されたい。また、歴史資料館については既存の施設の有効利用について十分に検討し、最小限の費用でより効果のあがる整備を行われたい。
- ・各種施設については、使用者が応分の負担を負うことは当然のことと考えるが、一部団体等に対し恒久的な減免が行われている実態がある。過去に見直しを図った経緯はあるようだが、是正はされていない。再度検討し、施設使用者間はもちろん、施設を使用しない市民からも公平と思える料金体系の構築を図られたい。